



「笑顔を取り戻してほしい」。依頼主の願いを叶えるエピテーゼを手掛ける歌岡緑さん=名古屋市名東区の池山メディカルジャパンで



柔らかな肌の質感や、経年を感じさせる染みだけではない。性格や癖も含めて作り込む。まさに命を吹き込む作業。エピテーゼ職人の歌岡緑さん(33)は「お客様の体の一部となつて生きるもの。自然と気持ちがこもる」と話す。

歯科技工士を目指して広島大に入学。実習で指の人工パーツの製作を学んだ。事故や病気で目や鼻、乳房を失った人の存在を知り、パーツの存在意義を感じた。「手先の器用な自分に向いている」。そう確信し、精巧

なエピテーゼを手掛ける池山メディカルジャパン(名古屋市名東区)に就職した。

作ったエピテーゼは幾度となく「生きているか」と問われた。シリコンの硬さ、透明感、色合い…。何百個と失敗しても諦めない。池山紀之社長(53)は「作り手の“生”こそが命を吹き込む。彼女にはその力がある」と歌岡さんを認める。

「またギターを弾きたい」「ピアスは着けられるかな」。客の希望を叶えるため、依頼は断らない。メンテナンスのために作業所に届くエピテーゼを手にすると、利用者の“生”を感じる。小さな傷や汚れ。使われているからこそ放つ命のオーラ。その鼓動を手のひらに感じることが何よりもうれしい。

写真・文 岩本旭人



## エピテーゼ職人

# 命吹き込む人工パーツ

15

**エピテーゼ** 事故によるけがややけど、乳がんや皮膚がんなど腫瘍摘出による身体の欠損、先天的な小耳症や合指症による体の変形を生じた部分にあてがう人工ボディーパーツ。シリコンなどの合成樹脂をもとに造形、着色などを施す。

六月から市内の公共施設を原則再開する瀬戸市では三十一日、職員らが準備に

汗を流した。  
三月五日から休館していた瀬戸市蔵所町の瀬戸蔵で

看板を設置 感染防止策も

## 市民

三女神



ニュース、情報は  
231-7333 Fax2  
Eメール  
shakai@chunic  
中日新聞へのご  
読者センター  
221-0800 Fax2  
Eメール  
center@chunic  
掲載写真を購入希望  
最寄りの中日新聞

名古屋市千種区赤坂町4-89  
電話セニン六二〇 FAXセニン六二〇

## 上野天満宮

- 合格初願・厄除
- 自動奉公・安産
- 初宮詣り・七福神
- 地鎮祭・縁結婚